京城日報　夕刊　十一日(水)

季節風も何のその　海上部隊意氣高し

一糸紊れぬ支那海遮斷

【軍艦○○にて二十日猪伏同盟特派員發】南支抗日の本據廣東を中心とする南方海面に日夜監視を續けつゝある我○○海上部隊の諸艦艇は三日三晩に亘つて暴威を逞しうした風速卅米の大時化にも一糸亂れず交通遮斷監視の網を張つて我制海權を微動だもさせず、其任務を完全に遂行し更に○○日には司令官○○、○○兩提督が旗艦○○艦上に重要會見をとげ種々打合せをなしデリケートにして至難なる遮斷任務を有効適切に實施するに萬遺憾なきを期するところがあつた、而してわが海上部隊の全將兵は士氣いよ〳〵旺盛既に本月上旬より襲來せる猛烈な季節風に對しても何のそのと鐵腕を撫して意氣南支の海を壓する概がある

大場鎭の敵潰走し始む

わが連日の爆撃に士氣沮喪

【上海前線○○にて二十日同盟】○○部隊に投降し來れる捕虜の言によれば大場鎭正面の敵兵は第十六師を中心として各地より急派し來れる兵力を集結しており比較的優勢な兵力を以て陣地に據り殊に三ケ月は現在線を固守し得ると誇稱してゐたが連日の我が空爆と砲撃のため士氣は逐次喪失し殊に馬陸比及び楊涇宅における砲兵陣地に見事な命中彈を與へ多數の砲彈並に火薬の誘爆を惹起せしめたり、なほ溫州、虹橋宅市場、南翔、七寶鎭、北王廟、虹橋等における軍需品倉庫、輜重部隊を爆撃…既にその一部は崑山方面に潰走してゐると言はれる

“まるで散歩だ”

昨日三回の南京空襲

【○○十九日同盟】我が○○海軍航空隊の新鋭は十九日早朝より前後三回に亘り長驅南京を空襲し、敵に多大の損害を與へた、即ち第一回は曽久隊長の指揮する○○機で午前三時月明を利して南京を襲ひ小賢しくも邀撃し來つた敵戰闘機と果敢な空中戰を演じたる後これを擊退し大校場飛行場を爆擊、揚柳庭外の飛行機列線附近に數彈を命中させこれを粉碎無事歸還した、第二回は同四時頃小谷隊長の指揮する○○機で二回目の南京空襲を敢行したがこの時は既に應戰し來る敵機なく敵は徒らに高射砲を亂射するのみで我方は自由自在に空爆を行ひ歸還した、第三回は大杉、原田、渡邊三隊長の指揮する○○機で南京市内の各軍事施設を空爆更に對岸浦口に飛び鐵路驛本屋に爆彈命中、之に大火災を起さしめ我方に損傷なく全機無事根據地に歸還したが○○部長は語る

今日の南京空襲は丸で散歩するやうなもので前後三回に亘り徹底的に南京をやつゝけた、敵は徒らに高射砲を亂射するのみで大したことなく軍事施設は片つ端から爆擊した、然し非戰闘員に對する損傷は絶對に避けた、こんなわけで本日の南京空襲には大した土産話もない

上海方面戰況

【上海十九日同盟】○○報道部午後九時發表＝(一)陸軍飛行隊は十九日朝來全力を以て敵の第一線陣地特に楊涇クリーク西側陣地廣福、陳家行西北地區の敵陣地の要部を爆擊し更にその一部を以て崑山、嘉定、太倉方面の敵狀を偵察敵の後方主要據點を爆擊し多大の損害を與へたり、特に林原部隊は南翔東山附近における敵の砲兵陣地を發見これを爆擊全滅せしめたり(二)一方我が地上部隊は前日の攻擊を更に續行し楊涇クリーク方面においては新宅、五宅附近の敵陣を奪取し更に廣福南方の馬場宅、陳家行陣地をも奪取し敵を西方に向け壓迫しつゝあり

わが爆撃狀況

【上海廿日同盟】廿日午前十時第三飛行隊報道班發表＝昨日わが陸軍航空隊は上海附近の陸軍部隊に協力しその全線に亘り前面の敵陣地及び砲兵陣地に終日反復爆擊し

山西省各地を空襲

娘子關の敵陣地にも猛襲を加へ

【天津十九日同盟】連日大活躍を行つてゐる○○根據地の猛者部隊は十九日も前日に引續き忻縣附近及び娘子關附近の地上部隊と協力敵に大損害を與へた、即ち十九日午前十時島田部隊の○機は忻口鎭附近の部落に掩護物を使して潜伏中の敵に對し猛爆擊を加へたのを始めとして岡田部隊も…

鯉登部隊の作戰に協力

蘇聯肅淸續く

【モスコー十九日同盟】ソヴエート政府の肅淸工作を報道してゐるスターリンがドイツD・N・B通信社は十九…

五原を空襲

【包頭十九日同盟】綏遠軍が政策の根據地と恃む五原の第一次攻擊の使命を帶びて小林大尉以下○機は包頭十九日午前十一時五十分根據地を出發、途中敵部隊約五百及…

東日廣告部員負傷

【上海○○にて十九日同盟】去る十四日午前六時半○○の戰闘において○○西山委一補充特務員は敵迫擊砲彈の爲左腕下膊に負傷し野戰病院に收容されてゐる、同氏は東京日々新聞社廣告部員である

戰線ニュース

【右から】わが軍獲鹿入城＝正太線の軍用路を進擊＝旗艦○○上のわが空軍の雄姿＝わが爆擊で火災を起した上海浦東の夜景(航空便)

ブラッセル九國會議近づく

白紙で會議に臨む

デヴイス代表と打合せ後　ル米大統領公式聲明

【ハイドパーク十九日同盟】ルーズヴエルト大統領は十九日午後ハイドパークの私邸に九ケ國條約會議アメリカ首席代表ノーマン・デヴイス氏を招致し最後の打合せを遂げたが右會見終了後ルーズヴエルト大統領は會議に對するアメリカ政府の立場を言明すると共に政府の外交政策批判に答へて次の如き公式聲明を發表した

ノーマン・デヴイス氏は九ケ國條約會議にアメリカを代表して…

佛代表は外務次官

【パリ十九日同盟】フランス政府は十九日午前十一時閣議を開き…

會議參加受諾

列國に泣つく

支那の態度注目さる

日伊政治協定說

イタリー官邊否定

英國民の認識

漸く正確となる

企畫院案可決

樞府本會議

イタリー重要閣議

滿鐵從業員また廿四名死刑

名譽の戰死者

天地玄黃

夕刊六頁　朝刊八頁

南山の杜に響けと 黎明を斬る南總督

國民精神總動員週間に 倭城台官邸に木劍體操

☆……今日本を覆ふ非常時の波に半島二千三百萬民は滅忠報國、愛國の熱情に燃え起つて郷に、職に、旗は翻つて、完全に内鮮一體の實を結んだ、日本精神のシンボル「日の丸」の下、銃後半島の父我等の南總督は就任以來陸軍大將の軍服を常用し今日の非常時局を明示する如く不言實行を唱へて半島の心を堅めてゐたが、國民精神總動員週間に呼應して起つた半島は正に國民精神作興の一點に總動員されてゐる有様で、不言實行身をもつて範の範たれ」を示す總督南次郎大將、歳既に六十四に達しながら就任以來精勵のやうに毎朝六時に起床すると、今は霧を衝く倭城台官邸の後庭に立つて「エイーッ」南山の杜に徹する鋭い氣合に、寸も大木劍は朝の澄んだ空氣をたち切つて山田流木劍體操をやるのである

☆……數十分「エイーッ」ビユウと今は神技に入る總督の木劍體操に、全身汗ビッショリとなつた後、冷水摩擦をして心身を清めるが、國民精神總動員週間中は兼久子夫人を始め官邸の人々に「全員集まれ!」の命令だ、一同整列すると東方を遙拜して君が代を合唱、今度は「皇國臣民の誓詞」を齊和する、これが總督の行事なのだ、そして銃後の護りの精神と半島治政へ總督の全精神は向けられて行く(寫眞は官邸の庭で大木劍を振ふ南總督)

朝鮮軍司令部に 新聞班を編成

けふから事務を開始

朝鮮軍司令部では朝鮮が世界的宣傳戰の双璧ともいふべき支那の中間に位せる上、朝鮮そのものゝ特殊性に鑑みて、民心の指導と輿論の喚起につき微妙の機構内で出來る限りの努力を傾注して來たが時局の重大性と適時性とはこのやうな姑息な方法に甘んずることを許さず、中央陸軍當局から將校若干名の配屬を得たのを機會に愈々獨立した新聞班を組織編成し、その任務達成に萬全を期することになつた

新しく生れた新聞班は參謀渡場中佐を班長にその下に池田、杵川、鄕の三少佐を始め岡田通譯官その他を以て編成し、この堂々たる陣容で二十日から活動を開始することになつたが、新聞班の新設に對しては各方面から非常な期待を持たれてゐる

右に對し朝鮮軍當局は二十日談話の形式で次の如く發表した

朝鮮軍に於ては今回新に新聞班を編成し、十月二十日からその業務を開始したが、その編成の趣旨は支那事變を契機として劃期的に昂揚せられた半島民の愛國心を更に强化し、國防思想を徹底せしめるため時局に對する正しい認識を與へ、現下の非常時局に對處するは勿論、將來如何なる難局に遭遇するも牢固として抜くべからざる内鮮一如の體制を確立し、帝國の一大飛躍に備へんとするに他ならない、これが運用に當つては陸軍省新聞班及び關東軍新聞班と提携してその趣旨の貫徹を期せんとするは勿論なるも、更に總督府當局新聞班その他一般官民とも協力……本府當局は希望してゐる

米國から日本へ 二百弗獻金

黑人向上會の慰問費

【シカゴ十九日同盟】ミシガン州デトロイト市に現在二十五萬の會員を有する黑人向上會から日本の出征將兵慰問のため二百ドル(邦貨換算七百圓)を醵出し、十九日シカゴにある帝國領事館に本國へ傳達方を依頼して來た、尚この獻金醵出は今後もつゞけて行はれる由である

天津旅行者は 豫防注射せよ

天津地方に於てコレラ患者續發の事態に鑑み、之れが防止のため同地當局では内地及び大連方面を經由する旅行者にはコレラ豫防注射證明書の提示を要求し、證明書を携帶せぬ者は何れも檢疫を實施することゝなり、廿日本府に通報があつたので同方面旅行者は必ずコレラ豫防注射を行はれたいと本府當局は希望してゐる

應召美談はつゞく

またもラヂオ應召 激浪の死鬪五時間 浚渫船乘組員原隊へ

【仁川電話】暴風雨のため航行を阻まれ木浦沖合の島かげに避難中の汽船が乘組員二名の軍事公用をラヂオでキヤッチし、怒濤も何かあらん、敢然五時間暴風と鬪つて木浦に歸航、無事應召期日に間に合はせたといふ美談がある……去る〇〇日仁川花町一丁目三九濵本源次郎氏及び旭町四四三好益市氏の兩氏とも仁川港修築事務所々屬浚渫船東榮丸乘組員で去る十日釜山出港、その後木浦出港以來暴風雨のため消息不明となつてゐることが判明、東榮丸には無電がないためラヂオに頼る以外通知の法がない、そこで〇〇仁川署長からDK小野田第一放送課長宛右公用の通知放送を依頼、この放送は十八日午後零時半と同四時の二回に行はれた、たまたま暴風雨のため木浦沖荏子島附近に避難中の東榮丸では突如午後零時半の電波をキヤッチ、何と乘組員二名が名譽の公用である、一刻も猶豫は出來ぬぞと船長以下全員雄々しく怒濤について逆巻く激浪と死鬪すること五時間餘で見事木浦港に到着、兩氏は歡呼の聲におくられて歸港にむせびながら一路列車で歸宅〇〇日與謝〇〇から原隊へ驅けつけることが出來たのである

京日案内が取持つ 勇士と銃後の結び

残る二兒は引取られ勇士出征

御願 今般應召に依り女兒六歳男兒四歳の二人を御預り下さる方を至急御願ひ致します可成く南米倉町港町方面を望む　姓名在社

☆……數日前の本紙社會面の一隅にこんな「京日案内」が出てゐた……いたいけない二人の愛兒に心を殘してお國のために出征する父親……だが世話はゐないのだらうか?誰もがさう思つたらう……ところが世話はあつた、子を思へばこそ時へのない身を粉にしても働いて夫の留守を護り愛兒を育てあげねばならない母親だつた、二人への幼な兒を連れては雇つてくれる人もない、愛すればこそ離れなければならない人生の皮肉……だがこゝにも銃後の固めを物語る美談が生れて二兒の世話を引受ける人があつた

☆……『本當にどうしたものかと隨分思案しました、妻とも幾日か相談した擧句、思ひ切つて人樣の情におすがりしようと決心したのです』二人の愛兒の身の振り方が定まつて再びあの赤紙が舞込んだ瞬間の興奮を取戻した勇士は涙に數日前の苦惱を想ひ出してか沈み顏で語るのだつた、勇士……京城南米倉町二二九番地永福三氏方の二階を間借する步兵上等兵小泉政二君は〇〇日讐れの赤紙を受けとつて『職にあぶれてゐる俺に赤紙とは……』と飛び上つて喜んだが、果物行商から商賣替して開いてゐたおでん屋を今春失敗して貯へとてなく働からにも働けないで、おでん屋時代商賣上手だつた妻みつ子さん(?)を旭町のある料理屋に働かせて、やつと親子四人の侘しい生活をしてゐると思ひ定ると困つてしまつた

☆……長女和代さん(?)と長男政雄君(?)をつれて仲居稼ぎは出來ないにきまつてゐる、といつて親……

清津、元山間の定期船 第二新京丸顛覆

廿一名行方不明となる

【清津電話】清津東一商會所屬清津、元山定期命令航路第二新京丸(五九噸)は廿日午前七時魚大津沖を清津に向け航行中遭難顛覆した乘組員二十五名(船員八名、乘客十七名)中四名は偶々附近航行中の日本食料工業の運搬船に救助されたが他の二十一名は行方不明目下當局は附近船舶と協力捜索中である

怪オートバイ 老人を轢く

そのまゝ逃亡

十九日午後十一時半ごろ京城市大門前のゴーストップの明滅する信號燈附近を鮮銀方面から南大門へ渡らうとしてゐた京城孔德町八ノ一二崔然雨さん(?)を京城府廳方面から物凄いスピードで疾走して來た黃色塗りの怪オートバイが『あッ』と云ふ間もなく跳ね倒した、老人はその場に昏倒人事不省となつた、黃色の怪オートバイは朝鮮神宮參道方面へ逃走、目下本町署で搜査中、なほ老人は直ちにセブランス病院に擔ぎ込み手當を加へたが全身に打撲傷を負ひなかなかの重傷である

◇京城食堂會では牛鳩米を理想的に炊く釜の使ひ方、御飯の炊き方等に關する座談會の研究會を二十一日午後七時から御成町集會所で開く、會費不要

名譽の戰傷勇士 三十六名京城着

北支の佐里村の戰鬪で名譽の負傷をした永濱中尉以下三十六名の白衣の勇士は二十日午前十時半京城驛着列車で下車直ちに龍山陸軍病院に入院したが、驛頭には小磯軍司令官、佐伯府尹をはじめ各種團體の賑やかな出迎へがあつた(寫眞は京城驛頭の勇士)

見送りの婦人達の 晴着を剪りまくる

京城驛頭謎の通り魔

十九日午後十一時京城驛發釜山—奉天間第九列車を見送る人々五千名で第二番ホームが埋め盡された感激、興奮の怒濤の中に、旗飾つた婦人の晴れ着を無殘にもズタズタに切る覆面の惡魔が現れ、今後の驛頭歡送の見送りに恐怖を與へた—京城明治町二丸ビル會館の女給たけ子さん(?)が人波にもまれながら見送つてゐると『あら、あんた羽織が切られてゐるよ』と一緒に見送つてゐる朋輩の女給さんから注意され、驚いて調べると晴れ着の銘紗の羽織の背中や袂が長襦袢に通るまで鋭利な安全剃刀の刃のやうなものでめちやくくに切りさかれ『あッ』と頓狂をあげた、列車がホームを離れたところでの意外な出來事に今までの興奮もサッとさめた數百名の婦人は命から二番目の晴れ着とばかり、場所柄もかまはず羽織を脱ぐやらお互に調べ合ふやら大騒ぎ『わあッ』と泣き伏すお孃さん『なんて好かんたらしい奴だ、お座敷着が臺なしだわ』と舌うちする姐さん『主人が買つて呉れたこのいつちよらをまあ、どうしませう』と泣聲の奧さん、驛頭に時ならぬ女の怨みの風景を描き、丸ビル會館の女給さんが七名晴れ着の銘紗をズタズタに切られたのをはじめ、被附、晴れ着、仕立下した許りのお祭り着等を同じやうに安全剃刀の刃のやうな鋭利なもので蛇の目のやうに切られた氣の毒な婦人は數十名に上つた、本町署では被害者の丸ビルの女給さんを呼び出し調査すると共に京城驛と協力し非國民的の怪漢を搜査することになつた

被害者の話

何時切られたのか判りません、ほかにも大勢の女の方が羽織や袂を切られました、如何どんな男がやつたのか知りません

京城驛の話

『こんな騷ぎがあつたことは知りません、また今までそんな事件はありませんでした、早速眞相を調査し、事實であれば大いに警戒致します』

北支慰問團は 無斷では困る

軍の諒解を得て行け

北支に於ける皇軍將兵の活躍に對し國民の感謝は銃後の赤誠となつて現れ、各種團體等は軍の狀況に鑑みることなく慰問團を派遣し第一線部隊の慰問を希望する向もあるが、軍當局では北支那戰狀の展開に伴ひ、これ等慰問團の保護輸送等々の關係上、出發前北支當局にあらかじめ諒解を得ないで慰問團を派遣せられるとは當分の間遠慮されたき旨北支派遣軍より本府に要望があつたので本府では廿日各道に對し重ねてその旨通牒を發した

兩氏に勳章

今回の支那事變に功によつて内務局土木課事務官井藤……氏の勳……高等法院檢事長増永正一郎氏の二等瑞寶章傳達式は二十日午前十……

明進舍製作品 展覽と即賣會

一時から本府總督室で失々傳達された……保護者もなく勝手に飛び回り、果ては不良の徒へ……收容、昭和三年以來こ……努めて來た京城新堂町……兒……の製作品卽賣……覽會を開催する

可愛い同情金

勇士庄田君へ 教授令孃から

池田の甘栗

天氣豫報

地方	天氣
京畿・黄海	北西乃至北東の風曇り勝
忠北・忠南	北西乃至北東の風
全北・全南	右同
慶北・慶南	右同
平北・平南	右同
咸南・江原	右同
咸北・咸南北	北東の風

仁川の潮時

京城地方【今晩】……【明日】同じ……
仁川地方【今晩】……【明日】……
京城温度(十九日)最高……最低……

趣味と學藝

名人・酒井雲！ 廿二日から京劇に

浪花節、琵琶、漫現ともに浪界の最高級を行く文藝浪曲の創始者酒井雲は久方ぶりに廿二日から京城劇場で口演する、一行は御大雲の外廣澤菊路、吉田常廣、酒井金時、藤川月將、一條大典、酒井東雲、浪花綱若、酒井雲坊ら將來の大物を目せらるる俊秀どころを網羅し、前人氣盛なものがある

雲の演しものは、忠臣藏、本能寺、杏掛時次郎、深川情話など既に定評のある所で、長谷川伸、子母澤寛、村上浪六、菊池寛らの傑作を一本の扇子と桃で遺憾なく語り逃し、その熱演は四日間京劇の舞臺を飾る筈

▲實現（十月號）二十錢、廣島市袋町五一・實現社

▲銃後の婦人（十月號）東京、牛込矢來町一五四、大補公共人協會

武道の精神と型をとり『皇國臣民體操』制定

帝國臣民としての心身鍛錬

現今の體育が餘りに歐化に流れ徒らに技巧的な形態美を求めてその實を失くした憾みがあるのに鑑みて古來の我が日本武道の型を手本にして新しい日本武體操の創案を目論んで朝鮮總督府が今度「皇國臣民體操」を制定して一般に普及させることとなつた

これは我が國體觀念が、古くから武士によつて培はれ、形づくられて來たのであるから、その武道の精髓たる型を選つて編みだしたこの皇國臣民體操で心身を鍛錬することによつて我が日本の精神と信念とを體得せしめようといふのである、その要領は次の如くである

皇國臣民體操實施要領
（各節はすべて四回宛くり返す）

第一節　前進後退左右開

前進後退
第一動　左足にて踏み摺足にて右足より一歩前進
第二動　右足にて踏み切り左足より一歩後退

左開
第一動　右足にて踏み切り左足より一步左に開く
第二動　左足にて踏み切り右足より一歩に開く

右開
第一動　左足にて踏み切り右足より一歩右に開く
第二動　右足にて踏み切り左足より一歩に開く

注意
（一）始めの姿勢は中段の構とす
（二）始めの位置と終りの位置とは同一とす
（三）體の運用の際は中段の構を崩さぬこと

第二節　正面擊

第一動　一歩前進しつゝ正面を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）頭を前後に振らぬこと
（二）刀を眞直に兩拳の下より相手の體の十分見ゆる程度に大きく振り冠ること

第三節　左斜面擊

第一動　一歩前進しつゝ左斜面を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）左斜面とは相手の左面なり
（二）刀筋を左斜下にして斜面を擊つ
（三）刀を眞直に兩拳の下より相手の體の十分見ゆる程度に大きく振り冠ること

第四節　右斜面擊

第一動　一歩前進しつゝ右斜面を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）右斜面とは相手の右面なり
（二）刀筋を右斜下にして斜面を擊つ
（三）刀を眞直に兩拳の下より相手の體の十分見ゆる程度に大きく振り冠ること

第五節　右籠手擊

第一動　一歩前進しつゝ右籠手を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）擊つた際刀は略々水平とす
（二）刀を兩拳より相手の籠手の見ゆる程度に振り冠る

第六節　右胴擊

第一動　一歩前進しつゝ右胴を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）右斜下方に手を伸し刀筋を正しくして斬り下す
（二）斬下した際の左拳は水月と臍との中間に位置す
（三）刀を兩拳の下より相手の右胴の見ゆる程度に振り冠る

第七節　左胴擊

第一動　一歩前進しつゝ左胴を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）左斜下方に手を伸し刀筋を正しくして斬り下す
（二）斬り下した際の左拳は水月と臍の中間に位置す
（三）刀を兩拳の下より相手の左胴の見ゆる程度に振り冠る

第八節　前　突

第一動　一歩前進しつゝ前より突く
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）刀筋を眞下にして突く
（二）手の内を絞り腕に力を入れ腰を動さぬ樣腕を十分に伸して咽喉を突く

第九節　表　突

第一動　一歩前進しつゝ表より突く
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）刀筋を右斜下にして突く
（二）手の内を絞り腕に力を入れ腰を動さぬ樣腕を十分に伸して前咽を突く

第十節　裏　突

第一動　一歩前進しつゝ裏より突く
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）刀筋を左斜下にして突く
（二）手の内を絞り腕に力を入れ腰を動さぬ樣腕を十分に伸して前咽を突く

第十一節　正面連續擊

第一動　一歩前進しつゝ正面を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ中段に直る

注意
（一）最後の動作は中段に直る

八相構　上段構　休め　拔け刀　脇構

第十二節　左右斜面連續擊

第一動　一歩前進しつゝ左斜面を擊つ
第二動　一歩後退しつゝ右斜面を擊つ

注意
（一）最後の動作は中段に直る
（二）刀を兩拳の下より相手の體の十分見ゆる程度に大きく振り冠ること
（三）刀を兩拳の下より眞直に相手の體の十分見ゆる程度に大きく振り冠ること

第十三節　前進後退

第一動　左足にて踏み切り右足より一歩前進
第二動　右足にて踏み切り左足より一歩後退

第十四節　呼吸運動

第一動　左蹠を右蹠につけ蹠を擧げつゝ上段に構へる
第二動　中段に構へつゝ蹲踞す
第三動　蹠を擧げつゝ直立上段に構へる
第四動　蹠を下しつゝ中段に構へる

注意
（一）最後の動作は右足を前に出して中段に構へる
（二）第一動と第三動は十分息を吸ひ第二動と第四動は十分息を吐く

備考　右上段構、左上段構、下段構、八相構、脇構、中段構、右六種の構は隨意授くるものとす

『雲』寫眞展覽會

十九日より廿一日迄
京城三中井ギヤラリー
主催　全朝鮮寫眞聯盟
後援　總督府觀測所　京城日報社

史外小草
金剛山と新羅太子の墓
長　風　山　人

金剛山に建てられた佛寺時代は最早一千年前の事である、内金剛の長安寺は新羅王朝の黄金時代法興王の元年王の祈願によつて建てられた、その次に現れる表訓寺は新羅佛教の黑新時期文武王の十年王の歸依せる表訓大師を第一世として開基した御寺である

◇

摩訶衍も文武王時代の建立、自然寺と正陽寺、そして神溪寺、御寺と名所舊蹟一として新羅の藝を開かざる處なく新羅時代の蹟が金剛山の周圍に今尙は蘊藏として殘されてゐる

◇

私は七年前摩訶衍より毘盧峰に上り、久米嶺を下つて九龍淵に出でんとした、途次久米博士の遺志に成る久米山莊に立寄り晝食を取らんとして小説を過ぎ右手に小高き墳墓の蹟を見た、其處に記して新羅太子の墓としてある。之を讀んで私は愴ち悦惚として新羅の末路に馳せつけた、

新羅朝の末代敬順王の高麗に降るや實に悲壯を極めた、慶州から遙る

山を過ぎ、鳥嶺を經て忠州に出でそして漢水を渉り、開城に入つて王冠を取り去り、爵衣をぬぎ捨て北面して臣と稱して降つた、その子弟をつれて米隣道路を吹奏し歌舞の子せして高麗に降つた、之が爲め新羅五百萬の民は流血痛心の悲から逃れたと謂はれる

◇

太子は王に從ふて降るを肯んぜず、爲めに太子獨り二、三臣僚を率ゐて路を自雲黃葉の間に求めて去る、太子の金剛山來訪によつて金剛山は勤揺した

◇

往年新羅建立した新羅の御等高麗王の怒を怖れて太子を逃はんとす太子便明能塞下の岩窟に入つて難を逃れ、遂にその終焉の場所と定めた松羅庵を出でて終るところを知らずと云ふ

余はこの久米山莊近畔の太子墓蹟を拜し、且つこの地形の神秘深幽なるを見て、太子の墳地恐らく眞に近しと感じ、野花數莖を捧げて太子の靈を慰めた

◇

金剛山は新羅王朝によつて開かれた、新羅の佛蹟によつて開拓した今や、この山は世界公園として近代人の眼色を動かし、世界名勝の冠絕として評判さる。一千年前新羅歿せず、父王に諫めて暁を立てて一歿すべきを勸む、父王聲く拒ん

小唄百太郎デビユ
『雷親爺』に主演の一人

P・C・Lの專屬スターとなつたコロムビア歌手小唄百太郎は矢倉茂雄監督が作製中の徳川夢聲主演の『雷親爺』にデビユすることになつた、役柄は大川平八郎の扮する番頭平吉の惡人樣子で、夢聲、佐伯、堤等と共に主演の一人であり同撮影所としては破格の扶擢である

邦畫界一步前進
舞台人の映畫出演

支那事變に刺戟されて打撃をうけたものは興行界において輸入禁止をうけた洋畫業者のみでなく傳統を誇つた日本演劇界にも影響して優の恥の樣に心得てゐた連中も一流劇場がニユース館や映畫館に看板を塗りかへられ舞臺出演が少くなり彼等も現實の問題に直面したわけだ

林長二郎の松竹退社の一投石は革新を拒否し續けた演劇界に警鐘を與へた、これを契機として舞台人の映畫出演として守田勘彌、澤村田之助、中村翫雀、阪東壽三郎、花柳章太郎らが發表された、まさに演劇界の未曾有の出來事であり映畫界における祝福すべき將來が約束されんとしてゐる

しかしてこれ等圓熟せる舞臺技術者の映畫出演はまさに既成映畫スターの脅威であり本邦映畫界は一歩前進の態勢を充分にとることになつた

『カラナグ』
ユナイト作品

『ブランゴ』『タブー』『モアナ』によつて自然映畫に同院を謳はれるロバート・フラアティによつて製作されたロンドン・フイルム作品（ユナイト配給）――フラアティが今回對象に選つたものはインドの象とそれをとりまく印度人たちで、彼はこの映畫製作のためにインドのマイソオール地方に二ケ年餘のロケーションをなして神秘的な物語を完成した――原作は英國の少年文學として知られたラデイヤード・キツプリングの『象のトーマイ』である（『薔薇降伏』『軍國子守歌』と共に明治座上映中）

不連續線
胃病

『運がつたのね』
『うん。けふは大學病院へ寄つて來たもんだから』
『あら。どこか、お惡いんですの』
『お前のお父さんが死んだのは、胃癌ぢやなかつたのかな』
『えゝ』
『僕も胃癌ださうだよ』
『まあ。本當ですの』
『レントゲンも撮つて見せて貰つたが、黴粒が一面にあつたよ』
『黴粒ッて』
『こまかな粒だよ』
『どうしたんでせうね』
『松茸の食ひ過ぎらしいんだ。さういへば、その黴粒は、小さく茸のやうな形をしてゐたんだから』
『困りましたわね』
『うん』
『でも、余がどうとかいふやうなことはないんでせう』
『あるんださうだ』
『まあ』
『胃癌には二種類あるさうだな。美食から來るのと偏食からのと』
『偏食ッて』
『好きだといへば、それはかり食ふ。つまり片寄つて食べるのさ』
『……』
『何を考へ込んでるんだ』
『……』
『あはゝゝ。實は嘘だよ。遲く歸つて叱られると思つたもんだから、お前の鋒先を挫したんだよ』

英國空軍創製の新防火服　英國空軍ではこの種主として飛行機の火災に使用するアスベスト製の防火服と新しい防火器を試作、去る九月二十四日クランウエル飛行場で實驗を行ひ好成績を收めた（寫眞はその防火服）

今晩のラヂオ

六時　歌物語（東）吉野光枝▲七時三〇分　講演（大東）上田孝吉、多田満長▲八時　俚謠（秋）杉江留治外▲八時一〇分　落語（東）歌雅樂（大）内田榮一▲八時三〇分　唱（東）▲八時五五分　連續ラヂオ小說（東）小島洋々外

國定忠次、(90)

長谷川伸作　岩田專太郎畫

大雨の前（七）

今市の鵜質が歸つて、その日の黄昏刻、國定村へ旅姿で七人、伊三郎身内の者がやつてきた。その中での大將株は假和洲籠秋次。あとの六人は、いづれも名もなき輩だが、皆人違はさう思はない、一騎名が賣れた心算でゐる者ばかり。

目ざしてきた、ここは、忠次郎不在の家、が、内には不思議に灯があかあか點されてゐる。

「秋次兄哥」
「うン」
「變に家の中が明るいじやねえか」
「俺もさう思つてゐるんだ。事によると野郎め、俺達がくるのを覺りやがつて、わざと蠟火をガンガンつけてやがるのかも知れねえ」
「だと、度胸のいゝ奴だなあ」
「度胸がよからうが惡からうが、からしては居られねえ、そろそろ始めるからその氣でゐろ」
「よし來たッ」

秋次は三人づつ二手に分け、表と裏とに配置したのが、西の空の夕燒け失せて、茜紅の霞の色褪せて行くところ。

引付けてある表の戸を、ことことと秋次が敲いて、
「今晩は」
答へがない。
「今晩は、お留守ですか」
やつと答へがあつた。
「だれだッ」
叫ぶやうな渋い聲な　秋次等三人、武者ぶるひが出た。
「五日市から參りました」
五日市は國定から遠からぬ村の名である。
「戸締りはねえんだ、勝手に開けてへえるがいゝ」
なあンだ、戸締りがなかつたのかと秋次が、がらりと戸を開け、見れば、行燈、神棚、佛壇に灯を入れ、その他に燭臺が二ツ、土間に蠟燭火を吐いてたてゝあつた。

これでは異様に明るい筈だ。

が、今、渋い聲で〝だれだッ〟といつた、その人がゐない。

秋次が要慎しながら土間へはひり、假聲をつかひ。
「ご免ください」
「はい、どなたでヤンす」
「えッ」
秋次ならずとも驚くだらう、今の今、〝戸締りはねえ、勝手に開けてへえるがいゝ〟といつた、あの聲、あの調子とはがらり違つた若作な聲柄と調子の男が、障子の蔭からぼやツとして出てきた。今市だな
「お前、だれだ？」
と、訊く秋次に今市が、
「わしはハブ忠次郎といひヤンして」
「何？、何？」
秋次は眼をこすりたくなつた。
「さうして又お前さん方はどなたでヤンす？」
「忠次郎だと？、お前、どこの忠次郎だ」
「上州佐位郡國定村のハブ忠次郎でヤンす」
「俺はお前みてえな忠次郎を尋ねやしねえ」
と、いはせも果さず今市は、けろりとして、
「人違ひでヤンすか、それはヘブ氣の毒なことでヤンす」
「やいやい、人をあんまり馬鹿にするなよ。こゝは國定村で忠次の家じやねえか」
「さうでヤンす」
「俺は忠次郎に會ひにきたんだ」
「何の用でヤンす？」
「忠次郎に俺は用があるんだ、忠次郎を出せ、忠次、さあ出てこい」
「こゝに居りヤンす、何の用でヤンす？」
「手前じやねオ、國定村の忠次に用があるんだ」
「國定村の忠次郎はわしでヤンす」
「そんなぼンやりした忠次じやねえんでえ」
「さうでヤンすか。あのう、門口から覗いてゐる二人の衆、内の中へはひつて貰ひませう」
門口の二人は、今市の顔を嘲りながら土間へはひつた。
「あのう、裏の三人の衆、表へ廻つてはひつて貰ひませう」
「おやこの野郎、裏の三人に氣がついてゐるからは、うぬはたゞのぼンやりじやねえだらう。名乘れッ」
「何度名乘つても同じことでヤンす、上州佐位郡國定村の忠次郎」
「默れッ。人を舐めやがつて太えしれ、どうしてくれよう。忠次の代りに締めちまへ！」
秋次が腕をたてた。……

京城日報
朝刊
日本評論
支那の現状を報告す
支那側の宣傳
◇空襲観戦記…周行
◇銃後風景…黄藥眠
◇支那兵の手記…雪帆
◇日支空軍の比較
其後の人民戦線…濱田峯太郎
文化人の動き…日高清麿瑳
財界の現況…島 伸三
封鎖戦線…梅原一雄
これから支那はどうなる
★ソ支聯繋の将來…小室 誠
南京は遷都するか…村田孜郎
長期抗日作戦の裏…宇治田直義
支那は何處まで赤化するか…横田 實
蔣介石の運命を占ふ…吉岡文六
特價九十銭
東京・京橋三丁目・四 日本評論社
政治學の二大典型 長谷川如是閑 井上謙吉
戦闘現況の戦略的段階
事變を如何に意識するか…杉森孝次郎
事變を如何に解決するか…末廣重雄
日支空軍主力の動向…野口 昂
香港だより…佐々木謙彦
航空黎明記…稲垣足穂
亡國の民…林 二九太
事變に直面して…津田信吾
國家と知識階級…篠原 雄
事變の思想的背景…大久保孝一
銃後論…和田日出吉
戦争はいつまで續くか 原 祐三 齊藤直幹
世界はどう出る (英)米田 實 (米)加田哲二 (ソ)茂森唯士
現地小説 (古都)尾崎士郎 (混流)榊山 潤 (戦ひの暇)林 房雄
情報と宣傳 大宅壮一
◇皇軍の主脳と支那の将領…X・Y・Z
◇支那は何をすべきか…宋慶齢
◇抗日の彼岸…リツプマン
◇運命の日支兩國…ベツファー
◇海軍の近代兵器…廣瀬彦太
移り行く生活 新居格
◇一億一千五百萬人の意志…ヒツトラア
◇獨伊兩國民の敵…ムツソリーニ
匿名評論
戦時體制は確立したか
支那評論壇
狼狽する新聞
為替協定の喜悲劇
北支をどうする
◇北支經營がこれからの問題だ、この無限の寶庫をどうする!!
蠟山政道
大藏公望
荒木光太郎
山崎靖純
國旗は戸毎に 藥は北島
株式會社 北島藥店
三和銀行
京城支店
本店・大阪市
朝鮮貯蓄銀行
皮膚泌尿花柳病
婦人公論
十一月戦争と生活合理化号
定價五十銭
本日発売
敗殘兵の母 尾崎士郎
上海戦線の女性たち 林 房雄
黎明の樂土・北支に嫁がんとする女性へ 清水郁子
漁師の子から今日を築いた夫 森永太一郎氏夫人 いね子
桑野通子哀戀譜 秘話
藝に生き妻として破れた雲月
或る女間諜の最期
支那人の妻となつてゐる日本女性 吉岡文六
純潔を失へる人々へ 村岡花子
母よまた會ふ日まで 藤田康吉
天津銃後日記
妖花マリー・ダロンジュ
男が男泣きする場合
お勘定
若人は異性に何を求めてゐるか
ベルリオーズの藝術と生涯 津川圭一
ソ聯は動くか 芦田 均
戦争と生活合理化…下村海南
お買ひ洩れのないやうにすぐお求め下さい!!
東京驛前丸ビル
振替東京三四番
中央公論社

大歡呼!!
主婦之友
十一月號
大感激!!
皇軍慰問繪葉書贈呈
伊東深水
田中比左良
主婦之友皇軍慰問特派員
吉屋信子
田中比左良
決死行
上海へ
堂々三百枚!!
見よ!!月明下の大空中戰
日本婦人は一人殘らず讀め!!
宋美齢と宋靄齢・宋慶齢
支那の三姉妹
武藤貞一
赤ちゃん萬歳
大附録
重寶
和服と洋服と編物の
赤ちゃん物百種
オギャアと生れてから三歳までの赤ちゃん物は全部間に合ひます
寒さは赤ちゃんの大敵!!
でもコレ一冊あれば御母様は御安心
結婚前のお嬢様方大喜び!!
全部實驗濟の新案物ばかり
出産お祝品が手輕に作れる
重寶で經濟的では日本一
▲和洋産着類一切
▲和洋お祝着一切
▲ベビー洋服一切
▲一つ身長着一切
▲夜具と防寒物一切
▲帽子とケープ一切
▲おむつカバー一切
戰死軍人の妻と武藤元帥夫人の熱涙の一問一答
世界大戰で苦闘した獨逸婦人の愛國座談會
戰爭は長期だ!!婦人は如何に覺悟すべきか
安部磯雄
石川社長
戰時の家計を上手にする秘訣
出征家族向の確實な内職
戰時の有利な利殖法と財産管理法
戰爭中に生れる赤ちゃんはなぜ弱いか
空襲の災禍を防ぐ新裝置の中流住宅
櫻井肉彈少將北支戰線熱血記
問題特別記事
良人讀本 菊池寛
戰爭と娘の危機 杉山平助
支那事變と英米 下村海南
難病(肺病 神經衰弱 ぜんそく)全治した名士の體驗座談會
杉山平助、武場隆三郎、磯部偷一郎、並木良輔氏の精神力で難病征服體驗
主婦之友婦人使節
山田わか女史を米國へ急派
石川達三先生の蒼氓以上の大傑作新連載
大悲劇小説「炎の薔薇」愈々本號より新連載!!
小説豪華陣
熱涙小説 妻の場合 吉屋信子
評判小説 人肌觀音 小島政二郎
人氣小説 緋の蜘蛛 片岡鐵兵
明朗小説 胡椒息子 獅子文六
問題小説 春園 横光利一
評判小説 母戀鳥 吉川英治
悲劇小説 子は誰のもの 竹田敏彦
戰死者は靖國神社にどう祭られるか
松井上海軍司令官母堂の苦心
彈丸除けの奇蹟!!な咒ひ
出ないお乳を必ず出す母の實驗集
どんな肌でも美しくなる新美顔法
美しき鷹競演の三人スター
轟霧立志賀の顔合せ座談會
(菊池寛先生司會)
水谷八重子の新婚生活襲撃
楠かほるの友愛悲曲
原節子
歸朝第一回作品
紅の愛の翼
原節子さんか主婦之友のために主演された歸朝第一回作品で大評判です。
四大附録つき
六十錢
(送料十一錢)
東京神田
振替一八〇
主婦之友社

妻

小島政二郎作　宮田重雄繪【66】

新婚旅行（三）

戀愛と云ふものは、不思議なものだ。平凡なものでも、戀愛してゐる男女の目には、新鮮な美しいものにして見せる魔力を持つてゐる。

まして美しい熱海の海の眺め、山の姿は、二人にとつて、この世のものとも思へない位イキ〳〵とした新鮮な美しさに輝いてゐた。

海沿ひの、變化に富んだドライヴ・ウエイを伊東温泉まで遠乘りしたり、川奈のゴルフリンクスへ遊びに行つたり、二人を喜ばせるところは到る處にあつた。

「明日は、十國峠へドライヴして見ようか。」

「十國峠つて？」

「箱根へ拔ける伊豆と相模の國境にある峠さ。そこへ登ると、十ケ國見えると云ふので十國峠と云ふのださうだ。」

「まあ——。とても景色のよささうなところね。」

「いゝだらうと思ふんだ。僕はまだ行つたことはないが——」

「是非連れて行つてよ。」

「その代り、十ケ國を見ようと云ふんだから、雲の掛からないうちに朝とても早く起きなきや駄目だぜ。起きられるかい？」

「まあ——。あなたこそ——」

二人は目でくすぐり合つた。

その日のうちに自動車を頼んで置いて、翌日七つ起きをして二人は出掛けた。

日金山を、グル〳〵廻りながら上つて行くにつれて、清冽な風が吹いて來た。少し肌寒いので、二人はどつちからとも體を寄り合はせた。

眞青な海。

秋晴れの空に、大島の眺望がハツキリ眺められた。

「ここからなら、大島近さうね。」

「うむ、二時間位で行けるんじやないかしら。」

「そんな近いの？」

「行つて見るか。」

「行つて見たいわ。」

「その代り、修善寺温泉を犠牲にしなければならないが、いゝか。」

「いゝわ。」

「ぢや、大島へ行かう。さうして大島から、船で眞直に東京へ歸らう。——君、船は大丈夫か。」

「大丈夫つて？」

「醉やしないか。」

「あんな無理なことを云つて——」

「どうして？」

「だつて、海を見たのが始めての人間を摑まへて、船の經驗を聞いたつて、分りつこないぢやないの。」

「然うだ。」

「ホホホ。——だけど、大島から東京へ歸るの厭だな。」

「こゝへまた歸つて來ようツての

「京都へ行きたいなあ。」

「京都？」

RADIO

廿一日（木）

第一放送

午前六時二五分（東）全國ニユース
同六時三〇分（東）基礎英語講座（十六）
同七時一分（東）朝の修養　聖パウロの信仰（四）　文學博士　山谷省吾
同七時二〇分（東）ラヂオ體操
同七時四〇分　今日の天氣見込
同九時二〇分（城）氣象通報
同九時五五分（東）衛生メモ
同一〇時三〇分（東）母の時間　母性の胎兒に及ぼす影響　醫學博士　齋藤潔
同一一時（大）小學生の時間（唱歌）　小阪コドモ會
正午（東）時報外
午後零時五分（東）アツコーディオン合奏　トンボ・アツコーディオン・バンド
指揮　眞野泰光
一、行進曲「兵士の出征」二、舞踏曲「秋晴れの湖畔」三、舞曲「美しきレナ」四、東洋の旅五、行進曲「我等の軍艦」
同二時三〇分（大）國民歌謠　伴奏　大阪ラヂオオーケストラ
一、愛國の花　渡邊はま子
二、戰勝の歌　東海林太郎
同一時一五分　ニユース
同二時三〇分　婦人の時間（朝鮮・釜山）毛髪染色の弊害　醫學博士　吳元錫
同二時（東）小學生の時間「尋五高二」音樂の聽き方（二）音樂の組立と拍子（第）弘田龍太郎
同三時三〇分（城）常識講座　我國の重要貿易品に就て　京城高商教授　吉川義弘
同四時　ニユース外（釜山・濟州）
同六時（城）ハーモニカ合奏（京城・釜山）
京城高商ハーモニカ・バンド　指揮　山中彭一
一、行進曲「双頭鷲旗の下に」二、行進曲「高等學校生徒」三、郭公ワルツ　四、行進曲「戰友」五、軍神行進曲
同六時　獨唱とピアノ（平壤）
獨唱　天野喜美子
ピアノ獨奏並伴奏　宗光榮代
一、獨唱（イ）椰子の實（ロ）庭の千草　二、ピアノ伴奏「ワルツ」三、獨唱（イ）乗懸し（ロ）千人針
同六時　オウタトオハナシ（濟州）　スミレ幼稚園々兒
一、オウタ（イ）不思議ナ木（ロ）兵隊サン　二、オハナシ「赤ン坊ネサン」　松本睦子
同六時二〇分（東）コドモの新聞
同六時二五分（東）連續講演　ソ聯の現状（二）產業・經濟　黑田乙吉
同六時五五分（東）カレントトピツクス
同七時　ニユース外
同七時三〇分（東）講演　太平洋時代に於ける日濠關係　鶴見祐輔
同八時（大）義太夫　信州川中島合戰　輝虎配膳の段　——新義座——
淨瑠璃　豐竹つばめ太夫
三味線　豐澤猿糸
琴　竹澤團二郎
同八時二五分（城）物語（京城・平壤）無言の戰士「噫富士號」　江崎鍾代
同八時三五分　軍歌と國民歌謠（釜山）
獨唱　李勳植
同　朴壽德
伴奏　港アンサブル

第二放送

午後零時五分（東）アツコーディオン合奏
同一時二五分　婦人の時間　吳元錫
同六時　お話　丁洪敎
同六時三〇分　經典講説　吳基先
同七時四〇分　農村講座（一）　金墠珏
同八時一〇分　軍歌のおけいこ　景明合唱團
同八時三五分（東）ヴァイオリン獨奏　ピアノ伴奏　玉城達　金光達
一、軍歌「滿州」二、國民歌謠「日本よい國」三、軍歌「北支の空」四、國民歌謠「千人針」五、軍歌「空爆の歌」
同九時三〇分（東）時報ニユース外
同九時五〇分（城）地方へのニユース
同一〇時（城）地方へのニユース
同一〇時三五分（東）英語ニユース
同一〇時四五分（東）支那語ニユース
同一〇時（東）中央幼年學校說々寄生木々（二）連續ラヂオ小說　時代（東寶演中）
銃後美談

太平洋時代に於ける日濠關係　7,30

鶴見祐輔

氏は在濠七週日、廣く各地を旅行し、講演と放送とによつて日本の實情を濠洲國民に理解せしめ、去る十月十三日歸朝したばかりである

日本は過去に於て米國及び濠洲を主なる相手とした貿易を數年間は濠洲南洋印度並に加への貿易は米支貿易を凌駕するに至つた、卽ち太平洋上の縱は東西の横より南北の縱へと移りつゝある、茲に於て太平洋の將來は日支米の關係より日濠南洋印度の關係に轉換せらるゝと、殊に日濠の關係が重要性を倍加しつゝある事は太平洋

連續講演六・二五　蘇聯の現狀

黑田乙吉

時局柄ソヴイエートの現狀は我等にとつて大なる關心の的であるがその認識を確にするためにはソヴイエート國家の特質たる計畫經濟とはどんなものかといふと、並にそこに特殊な發達のコースを辿つて居るとの國の產業の狀態を、一通り知つておくことが根本的に必

あすのきゝもの

廿二日（金）

午前一〇時三〇分（城）家庭講座　調味料の用ひ方（二）　石村キクミ
午後零時五分（東）俗曲
同二時一〇分（東）敎師の時間　現下の日本財政　經濟學博士　牧野輝智
同六時二五分（城）講演（京城・釜山）北支の產業經濟を觀る　朝鮮商工會議所會頭　賀田直治
同六時二五分　講演（平壤）日露開役と平壤　柴原助作
同七時三〇分（大）時事漫才　は萬歳ありとても　秋山右樂　秋山左樂
同七時五〇分（東）連續ラヂオ小說　寄生木（三）＝士官候補生時代＝
午後八時三〇分（東）管絃樂　日本放送交響樂團
同九時（東）時事解說　九ケ國條約會議に就て　法學博士　林毅陸
同八時三五分　古談　申情居
同九時　歌謠　朴桃姬

物語（八・三五京城）　無言の戰士 〃噫富士號〃

【作・江直備】代鍾崎江

北支南支の野を縱橫に馳驅して運戰運勝破竹の勢ひを以て正義の師を進めて居る皇軍の華々しき戰に對して銃後我々國民の感謝は今更此處に言を要しないが此の華々しき戰勝の蔭に默々として生命を賭しつゝ我勇士を助けつゝある無言の戰士軍馬、軍犬、軍用鳩達に對する感謝もまた忘れてはならないであらう此意味に於て此の物語は最近北支の戰線に壯烈なる戰死を遂げた軍用犬富士號の最後の狀況を傳へて我等無言の勇士の活躍に對する感謝の一端にし度い念願から企てられたものである

連續ラヂオ小說【第二夜】寄生木

幼年學校時代　御橋公外

良平の父は無罪放免で家へ歸つた家へ歸つたら良平を學校へ出してやる、といふ約束を思ひ出して、良平は急に父に會ひたくなつた丁度大木參謀長が官用で上京するので、良平は隨行したから

內地の中學に入つて幼年學校入學の準備をしたい希望を述べ、大木將軍の許可を得て、鄕里の父に會つた

しかし父の頑迷は出獄してもなほつてゐなかつた、學校へ入りたければ大木將軍が施してくれ、こんな大木將軍が世話をするな、と言つて突放した……

京日特選棋譜（3）

八段　高部道平
三子　三段　櫻田雪雄

お先き眞暗　覆面道人

自二十七より黑四十二迄、黑三八粘三六の下

二十八の將來

昨日は白二十七に黑二十八と覗いた、その手が最終の場面で、本日は白二十九と始まる。が黑二十八の目的は、白二十九を三十二と粘げば黑二十八が將來大いに役立つからである

奪取の計も殘る

卽ち黑二十八に白二十九を三十二なら、それが左の參考圖黑三十二となつて、後に黑は三十三の所で白に三十六と粘かせる交換に甚き、白を奪取の計も殘る次第だ。

參考圖と綜合觀

なほ黑二十八で參考圖三十二ま

好都合の晩化

豫算し難い

形勢混沌化